

きょうざい 教材の使い方

この教材は、初めて漢字を勉強する人が、漢字になれて、少しずつ生活のなかで見る漢字が読めるようになる、読みたいと思うようになることを目指してつくられています。

学習者のみなさんは、この教材でひとりで勉強するのではなく、できれば、近所の日本語教室で学習パートナーといっしょに学習したり、日本人の友達に学習を手伝ってもらったりしてください。

日本語学習パートナーなど学習支援をするみなさんは、教材のテーマにそって、住んでいる地域の情報などを交えながら、いっしょに学習を進めてください。

テーマはいずれも日常生活のなかで出会う場面を取り上げています。学習者が興味があるテーマから順に進めてください。

「おしゃべりしながら漢字を学ぶ」ということをイメージして活動を進めると、楽しみながら学べると思います。また、電車の路線図やスーパーのチラシ、宅配便の送付状など、教材の内容に関連する実物があれば積極的に活用してください。実物を見ながら話をする

と、学習が楽しくなるし、分かりやすくなるでしょう。

テキストは実際の生活の中で見かける漢字の読み書きの練習をしながら、漢字になれていけるように考えられています。漢字の書き方を練習するときには、パートナーはゆっくりと三回くらい書いて、

か かた しめ か じゅん きび
書き方を示してください。「書き順を厳しく」というわけではありま
せんが、かんじ こうせい ちゅうもく ひだり みぎ うえ した
漢字の構成に注目できるように、左から右、上から下と
いうような基本的な書き順や、「とめ」や「はらい」、ぶしゅ ちゅうい
部首に注意し
てください。かんじ かたち ゆらい はな え
漢字の形の由来を話したり、絵をかいたりすると学
習
が楽しくなります。

がくしゅうしゃ かんじ か れんしゅう
学習者が漢字を書くときは、ゆっくりと練習できるようにして
ください。おぼ か もくひょう か れんしゅう
覚えて書けるようになることを目標にして書く練習をし
すぎるとかんじ きら
漢字が嫌いになってしまうかもしれません。それよりも、すこ
ずつ、かんじ めざ
漢字になれていくことを目指してください。

がくしゅうしえん ひと がくしゅうしゃ じぶん ちいき
学習支援をする人は学習者といっしょに自分たちの地域でいろ
ろなしゃしん きょうざい しん せいかつ かんじ かんじ
写真をとってきて、この教材や『新にほんごく生活の漢字>漢
字
み〜つけた』（アルク）をさんこう せいかつ かんじ ばん
参考にしながら、『生活の漢字 ○○版』を
つくってみてください。じぶん きょうざい
自分たちのオリジナルな教材ができると、も
っともっとかんじ がくしゅう たの
漢字の学習が楽しくなります！